

KML版ハザードマップ閲覧方法

システム要件

お使いのパソコンで Google Earth を使用するには、最小システム要件をすべて満たしている必要があります。

Windows のシステム構成

最小要件:

- オペレーティング システム: Windows 7
- CPU: 1 GHz 以上
- システムメモリ (RAM) : 2 GB
- ハードディスク: 2 GB の空き容量
- インターネット接続
- グラフィック プロセッサ: DirectX 9 互換
- または OpenGL 1.4 互換

Mac のシステム構成

最小要件:

- オペレーティング システム: Mac OS 10.8
- CPU: Intel 64 ビット
- システムメモリ (RAM) : 2 GB
- ハードディスク: 2 GB の空き容量
- インターネット接続
- グラフィック プロセッサ: OpenGL 1.4 互換

内 容

イメージ

1. Google Earthをインストール

◎ 下記URLへアクセスする。

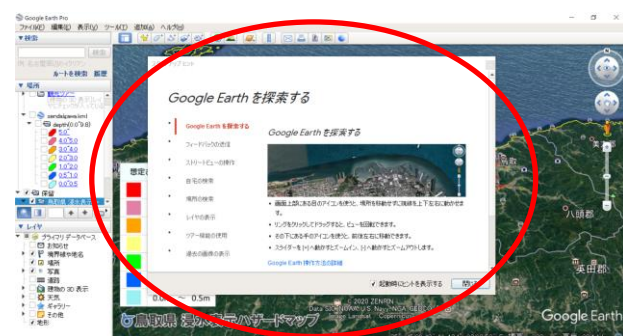
↓
https://www.google.co.jp/intl/ja_ALL/earth/versions/#earth-pro

- 「Earthプロ（パソコン用）をダウンロード」をクリックする。
 あとは画面の指示に従ってインストールする。



2. 鳥取県内河川統合版「鳥取県 浸水表示ハザードマップ.kml」データファイルをPCに取り込み、開く。

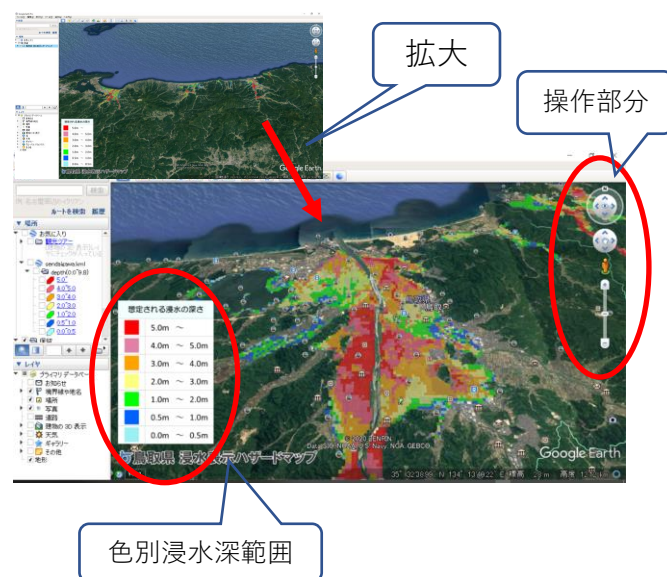
※グーグルアースが起動し、最初に操作方法が表示されますのでご確認ください。



3. 画面右上のナビゲーションリングや矢印ボタン、バーを操作することで、画面の方向や角度を変えたり、拡大縮小ができます。

※方向は画面をドラッグして変えることもできます。

想定される浸水の深さにより色別で表示しています。



KML版ハザードマップ閲覧方法

内 容

イメージ

4. ストリートビューの表示方法

注目したい場所を拡大し、右上丸印で示しているストリートビューアイコン（人の形）をドラッグします。

そのまま見たい場所へドラッグ&ドロップすると、ストリートビュー画面に移行します。

地面に立った視点での浸水想定が閲覧できます。

画面右上のナビゲーションリングや矢印ボタン、バーを操作することで、画面の方向や角度を変えたり、拡大縮小ができます。

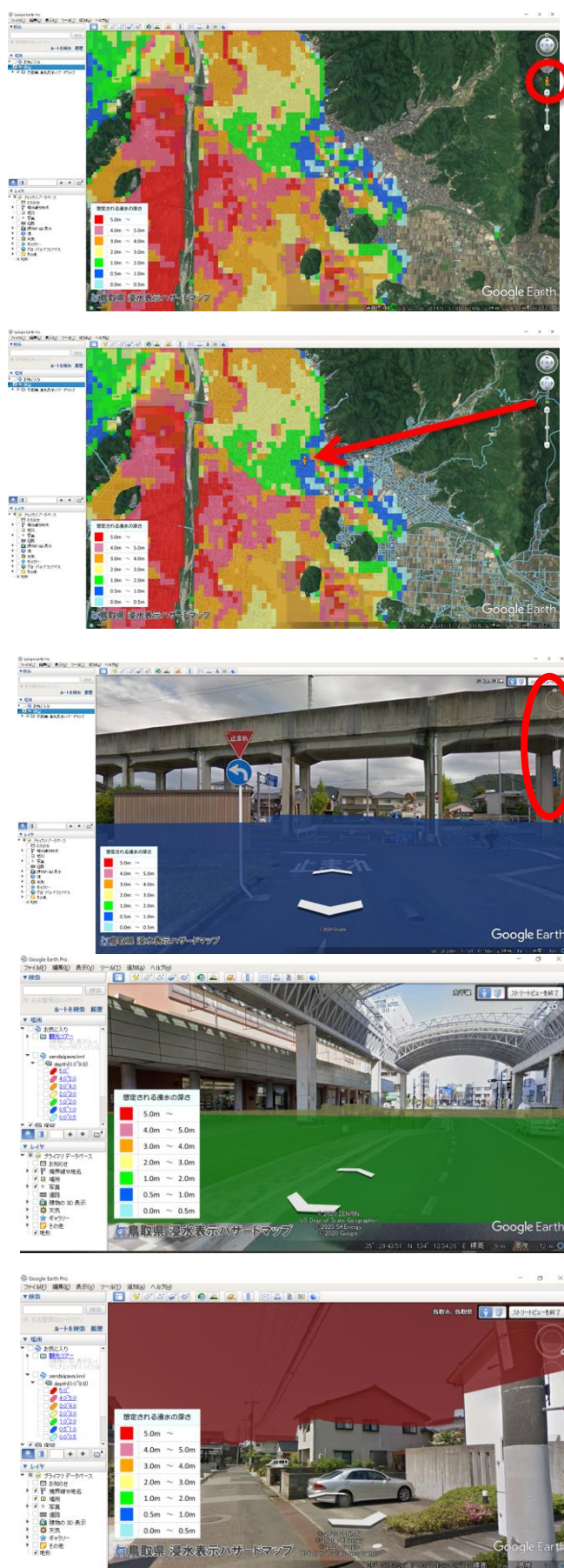
※方向は画面をドラッグして変えることもできます。

◎見たい場所を拡大操作し続けることでも、ストリートビュー画面に移行します。縮小操作をし続けると俯瞰画面に戻ります。

※ストリートビューの特性上、撮影視点より浸水深が高くなる場合は、水面が上部に表示されます。

■使用上の注意

Google マップ、Google Earth、またはストリートビューを他の商用目的、つまり「販売または利益目的」で使用する場合は、[Google Cloud カスタマー チーム](https://www.google.com/intl/ja_ALL/permissions/geoguidelines/)までお問い合わせください。
https://www.google.com/intl/ja_ALL/permissions/geoguidelines/



KML版ハザードマップ閲覧方法

内 容

イメージ

5. 浸水深表示 切替

左側パネルの「場所」チェックボックスを操作することで、浸水表示に関連する氾濫河川を任意に切替えることができます。

■表示河川は下記2種

◎鳥取県管理河川

◎国土交通省管理河川

◎全てのチェックボックスがオンの場合、全ての河川の浸水深が重なって表示されます。

河川表示切替 参考例【鳥取県西部】

◎鳥取県管理河川のみ表示した場合

◎国土交通省管理河川のみ表示した場合

◎日野川のみ表示した場合

